令和２年度　学校関係評価書

令和３年３月１９日
真庭市立米来幼稚園
園　長　横田　朝子

１．米来幼稚園　教育保育目標

「人や物とのつながりの中で　生き生きと遊ぶ子どもの育成」
〇明るく元気な子ども
〇友だちと仲よく遊ぶ子ども
〇遊びを工夫し、最後までやりとげる子ども
〇思いやりのあるやさしい子ども

２．本年度の重点目標（課題）

〇健康な生活リズムを身に付け、集団の中で主体的に活動できるこどもを育てる。
〇主体的に環境にかかわり、互いに認め合いながら、意欲的にやり遂げようとする子どもを育てる。
〇いろいろな人や物、自然とのかかわりの中で、いきいきと自分を表現したり、相手に思いやりの心をもって接したりできる子どもを育てる。
〇研究テーマ「心も体も元気　みんなにこにこ　あったかくなる遊びとは」
～思わず体を動かしたくなるような環境構成と援助～

３．園評価の個別評価

評価指標	考　察	園総合評価	評価委員評価（学校評議員）
教育課程 ・指導計画	職員間での共通理解をもとに、複式ではあるが、年齢に応じた教育内容を実践することもできた。日々の振り返りを記録し、指導計画に生かすことができにくかったことについては、記録にとることでよい的確に育ちをとらえられるように努めていきたい。	3	3
行事	コロナ禍で中止や内容変更等もあったが、2 学期からは計画していた行事は行うことができた。変更については保護者への理解や周知を早めにしていくようにして、地域交流は今年度の経験をもとに感染防止対策や内容を検討しながら来年度も行っていきたい。	3	3
組織・運営	少人数職員のため、仕事量が多く、職員への負担は大きかったと思うが、PTA 役員をはじめ保護者や小学校の協力を得ながら運営してきた。教育時間内は非常勤職員を配置し、発達段階に応じた活動や特別支援援助についても配慮した運営をすることができた。	3	4
学級経営	複式学級となり、発達段階を捉えた教育内容を考え保育してきた。今後も時間配分や各年齢の内容を協議しながら保育していきたい。	4	4

特別支援教育	職員間の共通理解を基盤に、一人一人の子どもと丁寧に関わり、スモールステップで自信が持てるように配慮し保育してきた。クラス全体が友達の良さを認め、互いに大切な仲間だと思えるような集団つくりができていた。また、支援事業を受け、書籍を読む、関係機関との連携を図るなど、職員の理解も深める研修ができた。	4	4
安全管理 ・保健指導	安全点検を毎月行い、総合遊具など危険が伴う遊具で遊ぶ時には必ず職員がそばで見守るようにしてきた。子どもたち自身が手洗い、消毒、給食時のマナーなどを意識して行うことができるようになってきている。今後も大切にしていきたい習慣になっている。	3	4
研修（資質向上）	実施された研修会については積極的に参加し、それぞれの職位で生かせるように努めてきた。また研修後は必ず報告をし、共通理解してきた。日々の子ども達の育ちを話し合い、発達段階に応じた教材研究などの園内研修も行うことができた。	4	4
情報提供・保護者・ 地域との連携	1学期に参観日が持てなかったこともあり、保護者との対話を大切にしながら、通信、日々の様子の写真掲示やHPの更新等も行ったが、直接会えない保護者への情報提供への課題が残った。また、地域交流が中止になったこともあり、来年度は感染対策を取りながら、実施に向けての内容検討をしていきたい。	2	3
小学校との接続 ・連携	2学期に入り、１年生・５年生を中心に計画的に交流会を実施することができた。来年度は年度当初に担当者での協議を行い、感染対策を講じた交流の在り方、内容等を検討していきたい。	3	3
子育て支援	登降園時に保護者とコミュニケーションをとるよう意識するとともに職員間で共通理解しながら、子どもの育ちを保護者と共有できるように努めてきたが、直接会えない保護者へのわかりやすい情報発信への工夫を今後もしていきたい。	3	4
食育の推進（給食）	ランチルームの環境を整え、給食に関心がもてるように教材を考え、掲示してきた。	4	4

４．その他必要な評価

評価指標	考　察	園総合評価	評価委員評価 （学校評議員）
その他１			
その他２			

５．本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

○昨年度に引き続き、今年度も複式での教育だったが、臨時の職員の配置等あり、3 人の職員で個々の子どもについての共通理解をし、連携を図りながら一人一人の子どもを大切に、ていねいに保育にあたってきたことで、のびのびと自己発揮し、自分からやってみようとする意欲や自信を持って行動する姿、友達の良さを認め一緒に活動することを楽しむ姿が見られるようになった。今後も、子どもたち一人一人に寄り添い、保護者や地域の方の協力をいただきながら、幼児教育を進めていきたい。

○コロナ禍のため行事等を変更する必要もあったが、行事の意味や取り組み、内容について見直し、考える良い機会にもなったように思う。今後も、子どもたちの育ちにおいて大切にしたい体験を、保護者や地域と安心して行えるように考え、実施していきたい。

＜学校関係者評価総合所見＞

○学年に応じた教育もできているように思う。

○一人一人を見ることは、大変だと思うが、よく努力されているのではないかと思う。

○今年度のコロナ対策等の経験を踏まえて、地域との交流はぜひ続けていってほしい。

○地域の人は喜んで協力するので、米来幼稚園独自の交流のやり方も模索してみてはどうか。

６．評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

○一人一人の育ち、集団の育ちをとらえ、その先の育ちへ確実につないでいけるように、日々の子どもの姿の記録を取り、職員間での共通理解を図りながら、職員研修を進めていきたい。

○また、今年度の経験を踏まえて感染対策を取り、小学校と連携のとりやすい関係をいかして、保護者、評議員の方々のお力をお借りしながら、子どもたちの生活をより豊かにできる地域交流体験を計画していきたい。

○保護者への写真等を活用した、より分かりやすい情報共有も、今後も続けていきたい。